

<p>科目名：小児看護学実習</p>		<p>必修</p>	<p>2単位(90時間)</p>	
<p>(Pediatric Nursing Clinical Practice)</p>				
<p>履修年次/時期：3年次 通年</p>		<p>授業形態：実習</p>		
<p>主担当教員：真田 英子</p>				
<p>主担当教員詳細：実務経験 臨床経験15年、うち小児看護領域経験7年：実務経験から子どもの最善の利益を遵守した看護実践能力が身につくように授業を行っていく</p>				
<p>担当教員名：小原 聖子</p>				
<p>学修目的</p>	<p>子どもの健全な発達段階を理解したうえで、健康障害を持つ子どもと家族に必要な基礎的な知識・技術・態度を養い適切な看護が実践できる。また実習を通して小児看護の役割を理解する。</p> <p>関連するCP： CP6</p> <p>科目No. KNp-307</p>			
<p>この科目が目的としているDP</p>	<p>1. 医療専門職としての倫理観を有する。</p>	<p>(1)生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(2)医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。</p>	<p>○</p>	
	<p>2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。</p>	<p>(1)教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(2)専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(3)社会の動向に関心をもち、学び続ける力を有する。</p>	<p>○</p>	
	<p>3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。</p>	<p>(1)多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。</p>	<p>○</p>	
		<p>(2)優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。</p>	<p>◎</p>	
		<p>(3)看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。</p>	<p>○</p>	
	<p>◎：この講義・演習・実習と最も関連があるDP ○：この講義・演習・実習と関連があるDP</p>			
	<p>到達目標</p>	<p>1. 子どもとその家族への関心を深め、関係性を築くことができる。 2. 子どもとその家族への看護を実践するにあたり、必要な知識を活用できる。 3. 子どもとその家族に対して看護過程を展開し、子どもの尊厳と権利を考えながら看護実践ができる。 4. 子どもとその家族を取り巻く多職種の役割と連携について考察できる。 5. 看護学生として責任ある態度で積極的に実習に臨むことができる。</p>		
<p>授業概要</p>	<p>保育園や医療施設の実習を通して子どもの成長発達を理解し、さまざまな健康レベルにある子どもと家族に必要な看護を考え、実施・評価するプロセスを学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p>	<p>(実習施設) 国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うわまち病院 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 公立大学法人 横浜市立大学附属病院 横須賀市立保育園 社会福祉法人 聖テレジア会 鎌倉領域医療センター小さき花の園 社会福祉法人 みなと舎 ライフゆう (実習方法) 病院実習では1名を受け持ち、実習指導者または担当教員と共に看護実践する。小児看護学実習要項を参照 (実習期間) 2026年5月上旬～10月上旬 オリエンテーション・病院4日間・保育園3日間・重症心身障がい児者施設1日間・学内2日間</p>			
<p>評価方法</p>	<p>ルーブリック評価表に基づいて点数化し、その合計点を最終評価とする。 フィードバックは実習毎に提示する。</p>			
<p>教科書</p>	<p>系統看護学講座 小児看護学①② 医学書院 新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス 医学書院</p>			
<p>参考書</p>	<p>浅野みどり他：発達段階からみた小児看護過程＋病態関連図 医学書院 今日の治療薬 南江堂</p>			
<p>オフィスワー連絡先</p>	<p>真田 英子(3号館3階研究室)毎週金曜日16:00～17:00 sanadai@kdu.ac.jp 小原 聖子(3号館3階研究室)毎週金曜日16:00～17:00 ※この時間以外でも対応しますが、実習等で不在のことがあるので、不在時はメールでお願いします。</p>			